

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。
暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を
込めて撮影している。



竹富島出身で現在大学3年生の内盛^{うちもりしょうたろう}正太郎さんは、沖縄本島の高校へ進学後、スポーツ健康科学部のある関東の大学へと進学した。

正太郎さんは、教員免許取得を目指し、教育実習生としてひと月ほど母校の竹富中学校に通っている。

「教育実習のために帰省する大学の友人たちは、みんな緊張すると言いながら準備をしていましたが、自分は全く緊張していませんでした。ひと月も帰省できることが嬉しかったし楽しみでした。実際、毎日楽しいです」

正太郎さんは、小学校の頃から私が開いていた英語の会に参加していて、国際系の高校へと進学したこともあり、大学でも英語にまつわる勉強をするのかと思っていたので、スポーツ健康科学部と聞いた時には少し驚いた。

「高校では、めちゃくちゃ英語勉強したし、とにかく頑張った。海外に旅行に行きたいと思ってるし、やって良かったと思ってるけど、今はもう英語は専門にしたいとは思わない。今は、ゼミで遺伝子の研究をしているんだけど、それが凄くおもしろいです。例えば、大学でいろんな人に協力してもらって、それぞれの筋肉の状態を遺伝子レベルで調べました。海外のオリンピックの選手は、生まれつき選手になれる筋肉であることが遺伝子レベルで分かっているんですよ」

正太郎さんから島の子どもたちへのメッセージを聞いた。

「勉強でもスポーツでも、自分が打ち込めるものに精一杯向き合って頑張ることは、将来自分の選択の幅を広げることに繋がると思う。自分も、最初から学校の先生を目指していた訳ではないけれど、教育実習生として自分の母校に来ることができたのは、いろいろな道を選べるチャンスを自分で作れたから。今頑張れることに真剣に向き合ってほしいです」

気負いのない自然体な姿は、本人も気づいていないであろう努力からくる自信で、正太郎さんを少しのもしく見せていた。

水野暁子 みずのあきこ

1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

- 島人へのインタビューをまとめて紹介している YouTube チャンネル「八重山ライブラリー」も。
- フォトエッセイ本『八重山、光と風の葉をはさんで』。発注は、右 QR コードホームページの Contact から。



Akiko Mizuno Photography



八重山ライブラリー